

平成20年度 北栄町環境報告書



平成21年9月

鳥取県北栄町

目 次

第1章 北栄町の概要

1. 位置	1
2. 地勢・気象	1
3. 人口	2
4. 土地利用	2
5. 産業	3

第2章 北栄町の環境の現状

1. 河川	3
2. 海岸	3
3. 農地	3
4. 大気	4
5. 騒音・震動	4
6. 悪臭	4
7. 化学物質	4
8. 不法投棄	5
9. 野焼き	5
10. 上水道・生活排水処理	5
11. ごみ	6
12. リサイクル	7
13. エネルギー	9

第3章 環境保全活動への取組状況

1. 町の取組	9
2. 町民の取組	12
3. 事業者の取組	13

第4章 実行・点検・行動の取組状況

1. 推進体制の整備	13
2. 具体的実行計画の達成状況	13

第1章 北栄町の概要

1. 位置

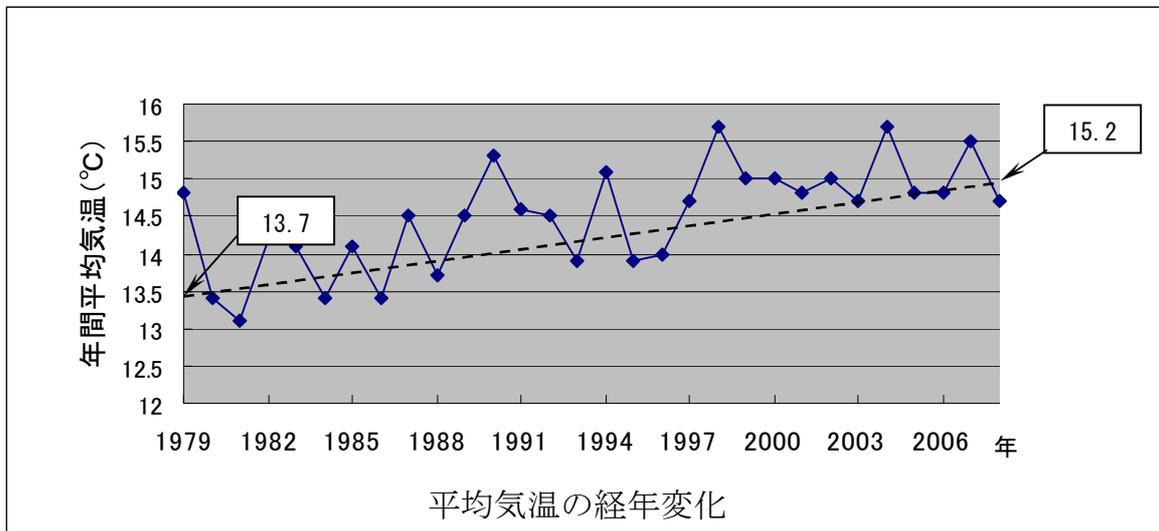
本町は、鳥取県中央部に位置し、北は日本海に面し、東は湯梨浜町、南は倉吉市、西は琴浦町に接した、東西約12.5キロ、南北約9.5キロ、面積57.15km²の「く」の形の形状をした町です。

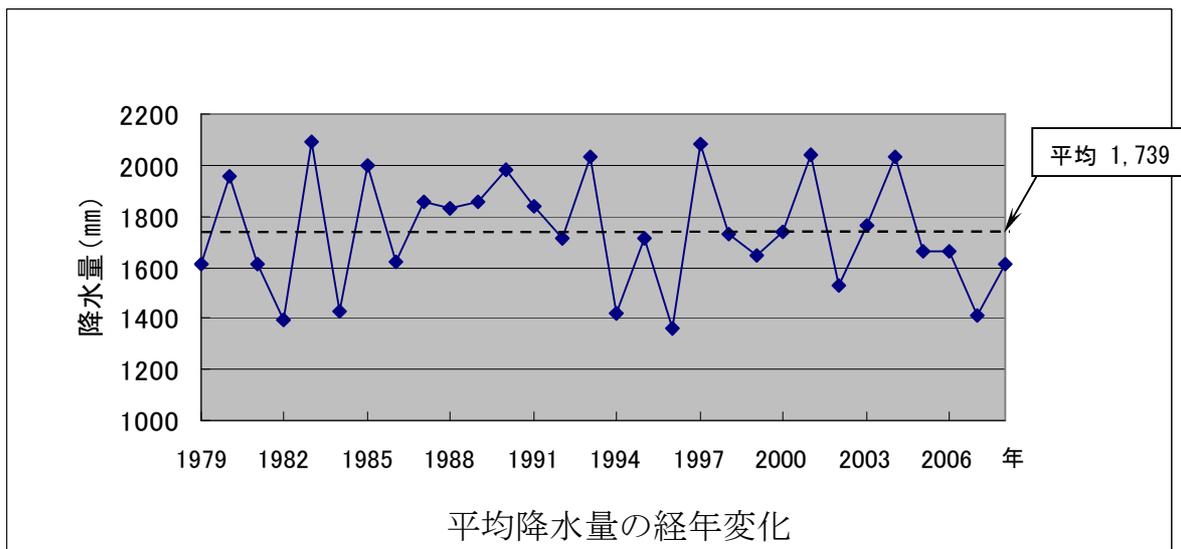
2. 地勢・気象

地勢は、中央部に2級河川由良川が流れ日本海にそそいでいます。海岸部は、東西12.5kmに及ぶ美しい砂丘海岸で、白砂青松と称えられる防風松林地帯を擁しております。また、その背後には15km²にも及ぶ砂丘地帯が広がっております。南は山地丘陵や中国山地に続く高地となっております。全体として標高は低く、最高位は314mであり、なだらかな緩傾斜の地形となっております。

また、県の東部と西部をつなぐ国道9号、さらに313号により岡山県とつながっているなど、鳥取県における交通上の要衝の地でもあり、山陰自動車道及び地域高規格道路の建設も順調に進んでおり、将来的に発展する可能性を無限に秘めた地域です。

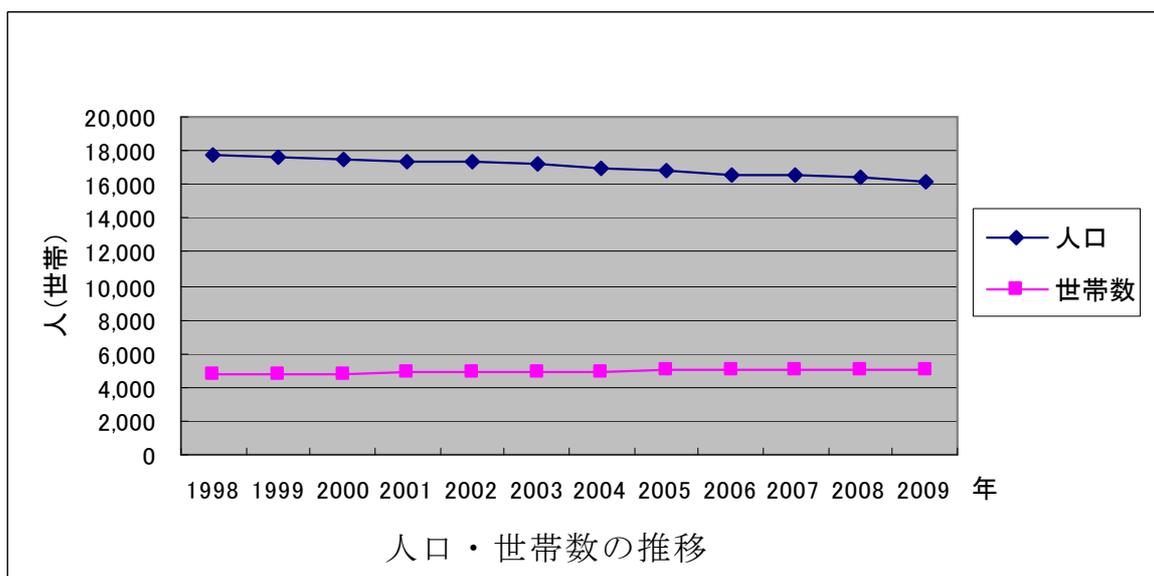
気候は、昭和54年(1979)～平成20年(2008)の年平均気温は、14.5℃で、年平均降水量は1,739mmです。気象庁で観測されている昭和54年(1979)から平成20年(2008)の年平均気温の経年変化を見てみると、近年気温が徐々に上昇している傾向にあります。





3. 人口

本町の人口（住民基本台帳）は、平成21年（2009）3月31日現在16,218人（男7,773人、女8,445人）、世帯数5,090戸です。平成7年の国勢調査での17,228人を最高に、それ以降少しずつ減少傾向を示しています。一方、世帯数は、年々増加傾向にあり、核家族化の進行がみられます。



4. 土地利用

町の総面積は、57.15km²です。平成20年（2008）現在における固定資産台帳での内訳は、宅地4.5km²（7.9%）、田9.9km²（17.3%）、畑17.2km²（30.1%）、山林13.8km²（24.1%）で全体の79.4%を占めています。過去5年間の土地利用状況に大きな変化は見られませんが、耕作地の推移では、農地の減少傾向が顕著に表れています。

5. 産業

本町の就業者数は、平成17年（2005）の国勢調査によると9,051人で、その内訳は、第1次産業2,353人、第2次産業2,101人、第3次産業4,575人となっています。昭和50年（1975）からの国勢調査の結果から第1次産業就業者の減少の傾向が見られ今後もこの傾向が続くものと思われま

第2章 北栄町の環境の現状

1. 河川

本町の河川の水質は、1級河川天神川（河川類型A）では以下の表のとおり大変良好な水質が維持されています。

天神川の水質の推移

測定年度	pH	BOD	SS
水質基準	6.5~8.5	2以下	25以下
平成18年度	7.2	0.7	2.1
平成19年度	7.1	0.6	3.2
平成20年度	7.1	0.7	2.3

データ提供：国土交通省倉吉河川国道事務所

2. 海岸

本町の海岸線は、東西12.5kmに及ぶ美しい砂丘海岸で、白砂青松と称えられる防風松林地帯を擁しております。しかし、近年急速な海岸浸食により以前に比べて1/3以下になっているとも言われています。

一方、海岸に押し寄せる漂着物は年々増加しています。特に、台風などの荒天時の漂着物は、かなりの量になっています。漂着物には、多量のペットボトルなどのプラスチック系のごみが混入しているため、その処理に困惑しています。

また、近年周辺諸国からと思われる漂着物も増加の傾向にありその対策にも苦慮しています。この問題に関しては、平成21年（2009）2月に韓国・釜山において、「きれいで豊かな海を共に守るための日韓実務協議」が開催され、廃ポリタンク漂着問題の解消についても一層積極的に協力していくことが確認されました。平成20年1月から2月にかけて漂着したポリタンクの数は、全国で39,941個、うち鳥取県は1,562個でした。

3. 農地

本町の平成20年（2008）現在の遊休農地は、北条地区約54.2ha、大栄地区約65.7ha、町全体では約119.9ha存在しており、耕地面積の4.3%にも達しています。また、町全体の遊休農地のうち農業振興整備地域内の遊休農地は約72haです。

4. 大気

本町では、観測記録はありませんが、大気に影響を与える工場等が無い場合、人の健康を害するような大気汚染の発生はなく、良好に推移していると思われま

5. 騒音・振動

本町は、騒音規制法、振動規制法に基づく騒音、振動を防止することにより生活環境を保全する必要があると認められる地域の指定はなされていません。

騒音・振動ともに、大きな騒音・振動を発生する工場等はなく、工事作業等を発生源とする若干の苦情はあるものの、比較的静穏な環境が維持されています。

平成20年4月から平成21年3月までの間で新たに寄せられた苦情は、1件でしたが、原因者に改善を求め解決しました。

6. 悪臭

本町での悪臭の苦情は、家畜の飼育施設からのものや農地における堆肥の野積みによるもの等が寄せられています。

家畜の飼育施設からの苦情については、その発生源対策が急がれるところですが、畜産農家をとりにくく環境は厳しく対策が後手に回っていることは否めません。

平成20年4月から平成21年3月までの間に寄せられた苦情は、5件でしたが、原因者に改善を求め、すべて解決しました。

7. 化学物質

化学物質として近年注視されているものとして、「ダイオキシン」があげられます。人の健康に重大な影響をもたらすものとして、定期的に濃度測定を実施していく必要があります。

「クリーンランドほうき」での測定結果は、平成20年測定で0.000039pg/lで、基準値10pg/l以下となっており基準を下回っています。

平成21年2月には、環境省の実施する全国的な調査「ダイオキシン類をはじめとする化学物質の人への蓄積量調査」の農村地域調査対象町に選定され、町内の18人の協力のもとアンケート調査、血液測定、食事調査（5人のみ）を実施しました。調査結果は平成21年9月に発表予定です。

また、鳥取県は、ダイオキシン類対策特別措置法第26条に基づき毎年県内の一般環境中のダイオキシン類の調査を実施しています。平成20年度は、北栄町内の選定調査地点はありませんでしたが、近傍の調査地点の測定結果は下記のとおりで、いずれも環境基準値を下回っています。

ダイオキシン類測定結果

調査区分	測定地点	単位	測定結果	環境基準
大気	倉吉保健所（倉吉市）	pg-TEQ/m ³	0.010	0.6以下

土壌（一般環境）	湯梨浜町立東郷保育所 （湯梨浜町国信）	pg-TEQ/ g	0.12	1,000 以下
----------	------------------------	-----------	------	----------

8. 不法投棄

本町での不法投棄の現状は、海岸部及び山間部で主に家庭からのごみ（一般ごみ、家電等）の不法投棄がみられます。

地権者、県の監視員の協力を得て不法投棄禁止を呼びかける看板を設置したり、不法投棄物の撤去を行っていますが、未だ多くの不法 41 投棄が行われているのが現状です。

平成 20 年 4 月から平成 21 年 3 月までの間で新たに発見された不法投棄箇所は、6 件で、そのうち 4 件は投棄者及び土地所有者によって処理され、2 件は土地所有者に処理を依頼中です。平成 20 年 3 月以前からの不法投棄箇所で未処理の箇所は、27 件となっています。

9. 野焼き

野焼きはダイオキシン汚染をはじめとする大気汚染の原因になるため、ごみを処分する場合は、一般家庭であれば可燃物としてごみ収集日に出していただくように啓発しています。

しかし、依然として野焼きが行われているため、付近の住民から苦情がよせられています。その都度、注意喚起を行っていますが未だ根絶していません。

平成 20 年 4 月から平成 21 年 3 月までの間で新たに寄せられた苦情は、6 件でしたが、原因者に改善を求め、すべて解決しました。

10. 上水道・生活排水処理

本町の上水道は、平成 21 年 3 月末（2009）現在で行政人口 16,301 人に対し、給水人口 16,207 人で、普及率は 99.4% となっています。

上水道施設は、水源池 8 箇所では給水能力 9,770 t/日に対し、給水実績 5,316 t/日です。また、給水管延長は 152.4 km です。

平成 17 年（2005）10 月の合併に伴い着手した旧町水道網の統合事業が平成 20 年度でほぼ終わりました。今後は、2.2 km 残っている石綿管の早期更新や老朽化している西高尾水源にかわる新水源開発を進めていきます。

生活排水処理施設としては、公共下水道 3 処理区、農業集落排水施設 1 処理区、合併処理浄化槽 1 処理区で整備を進めています。平成 21 年 3 月末現在で整備率 88.2% で、水洗化率 76.0% となっております。平成 25 年度完成に向けて計画的に整備が進められています。

11. ごみ

ごみは、現在17分別での回収を行っていますが、ごみの更なる減量化を進めるためには、排出抑制のための住民や事業者への啓発や純粋なごみと再生資源の分別を徹底することが必要になります。

再生資源を除いたごみ処理量は、平成18年度から毎年減少しており、平成20年度は3,279 tで、平成18年度の3,592 tと比較すると91.0%に減少しています。町民一人ひとりのごみ減量に対する意識の高揚と実践がこの結果につながったものと考えられます。次年度以降も、より一層のごみ減量化が期待されるところです。

一般廃棄物〔ごみ・再生資源〕排出量の推移

〔ごみ〕

(単位：t)

年 度	可燃	不燃	可燃粗大	不燃粗大	小計	うち粗大鉄等 (再生資源)	合計 ①	1人1日あたり 排出量 (g)
平成19年度	3,265	123	86	67	3,541	△ 87	3,454	583
平成20年度	3,101	111	81	52	3,345	△ 66	3,279	555
比 較	0.92	0.80	0.84	0.55	0.90	0.60	0.91	0.91

〔再生資源〕

(単位：t)

年 度	ビン	缶	紙類	布・衣類	発泡スチロール ・トレー	ペットボトル	廃天ぷら油	粗大鉄等	合計 ②
平成18年度	140	60	654	13	2.7	11.4	0.0	111	992.1
平成19年度	131	59	691	19	3.4	14.0	8.6	87	1,013.0
平成20年度	111	55	697	19	3.7	14.6	11.1	66	977.4
比 較	0.79	0.92	1.07	1.46	1.37	1.28	皆増	0.60	0.99

〔総計〕

年 度	人 口 (人)	排出量 (t) (①+②)	リサイクル率 (%) (②/総計)	1人1日あたり 排出量 (g)	1人1日あたり 排出量 (g) ※団体回収、廃油を除く
平成18年度	16,716	4584.1	21.6	751	665
平成19年度	16,635	4467.0	22.7	736	648
平成20年度	16,498	4256.4	23.0	707	621
比 較	0.99	0.93	1.06	0.94	0.93

中部の市町の状況 平成18年度

(単位：t)

年 度	可 燃	不 燃	可燃粗大	不燃粗大	合 計	1人あたりの排出量
倉吉市	15,145	433	438	388	16,404	851g/日
湯梨浜町	4,140	125	84	82	4,431	670g/日
三朝町	2,129	72	31	35	2,267	808g/日
北栄町	3,372	139	97	95	3,703	607g/日
琴浦町	4,565	139	71	44	4,819	651g/日

中部の市町の状況 平成19年度

(単位：t)

年 度	可 燃	不 燃	可燃粗大	不燃粗大	合 計	1人あたりの排出量
倉吉市	14,572	398	441	247	15,658	822g/日
湯梨浜町	4,172	123	101	62	4,458	677g/日
三朝町	1,997	66	33	29	2,125	765g/日
北栄町	3,265	123	86	67	3,541	583g/日
琴浦町	4,404	133	100	35	4,672	638g/日

中部の市町の状況 平成20年度

(単位：t)

年 度	可 燃	不 燃	可燃粗大	不燃粗大	合 計	1人あたりの排出量
倉吉市	14,085	411	333	248	15,077	805g/日
湯梨浜町	3,951	118	81	57	4,207	646g/日
三朝町	1,572	62	27	23	1,684	621g/日
北栄町	3,101	111	81	52	3,345	555g/日
琴浦町	4,431	130	83	38	4,682	656g/日

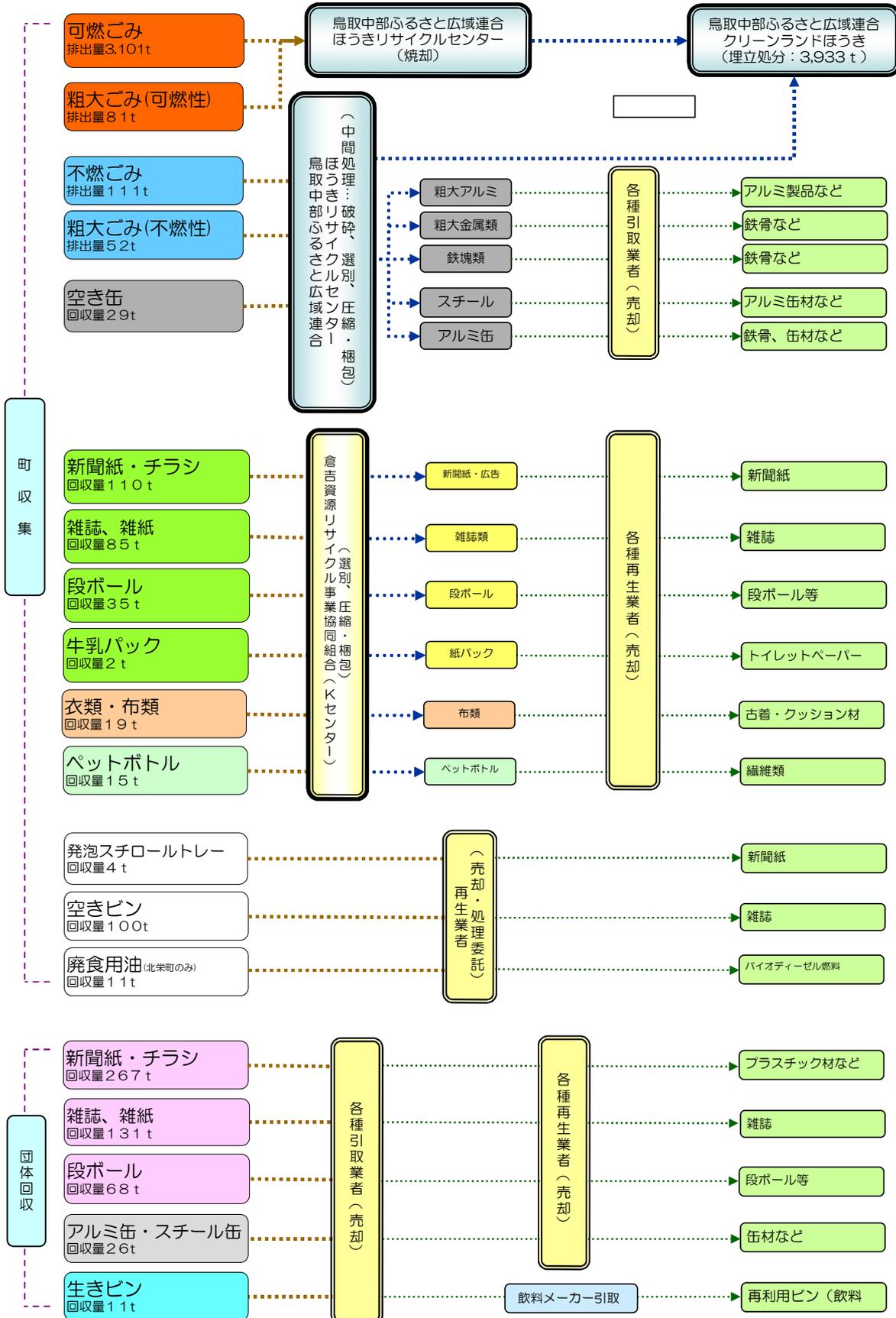
12. リサイクル

本町では、平成9年からごみの分別回収を実施し、ごみのリサイクルを図ってきました。その結果、平成20年4月から平成21年3月までの間でリサイクル率は、23.0%に達しています。平成17年度と比較すると2.1ポイント上昇しています。次頁は、本町のごみ処理及び資源化の流れです。



《ごみ処理及び資源化の流れ(北栄町)》

※数値は平成20年度実績に基づく。



13. エネルギー

鳥取県のエネルギー使用量を電力使用量で見ると、ほぼ横ばい傾向を示しております。本町だけのデータではありませんが、県の傾向とほぼ同じであろうと考えられます。

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
生活関連用	2,549	2,520	2,594	2,568
産業用等	1,354	1,330	1,376	1,338
販売電力量計	3,903	3,850	3,970	3,906

データ提供：中国電力

第3章 環境保全活動への取組状況

1. 町の取組

本町では、平成18年(2006)12月に環境基本条例を制定し、環境政策を重点施策として推進していますが、条例制定前からも様々な施策を実施してきました。以下平成20年(2008)までに実施した事業を示します。

①北条砂丘風力発電所の設置

②生ゴミ処理機導入(補助率1/3、上限2万円まで)

平成18年度(2006)まで 137台、平成19年度(2007) 10台

平成20年度(2008) 16台 計 163台

③ペレットストーブの導入

平成18年度(2006)まで 1台(北条小)、平成19年度(2007) 1台(大栄小)

平成20年度(2008) 北条小学校 2台、大栄小学校 1台、北条庁舎 1台 計6台

④太陽光発電設置費補助

平成18年度(2006)まで 25戸、平成19年度(2007) 5戸

平成20年度(2008) 8戸 計 38戸

⑤合併処理浄化槽設置事業補助金

平成18年度(2006)まで 63基、平成19年度(2007) 1基

平成20年度(2008) 0基 計 64基

⑥ゴミの分別回収 17分別

⑦環境学習・ごみ分別講習会 平成18年度 4自治会 88名

平成19年度 8自治会 253名

平成20年度 8自治会 264名

⑧資源ゴミ回収報奨金制度 97団体

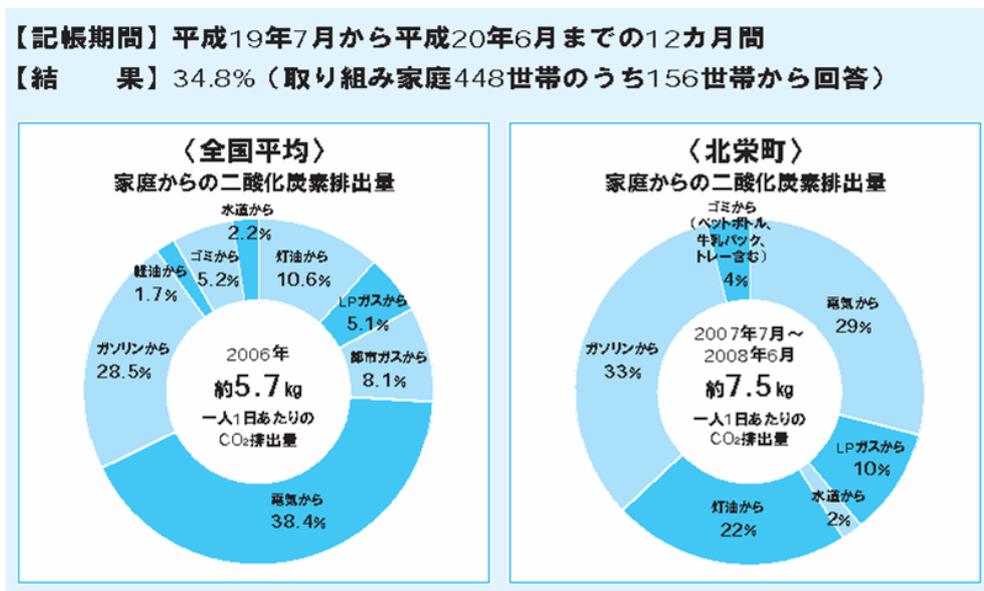
⑨海岸、河川清掃 海岸—自治会、年3回 河川—自治会、年1回

⑩クリーン作戦の展開 全自治会 年2回

- ⑪婦人会のリサイクル活動の支援（割り箸、ペットボトルキャップ等）
回収実績（平成18～20年度）
 - ・割り箸 約3,079kg … ボックスティッシュ 4,500箱分
 - ・ペットボトルキャップ 約43万3千個 … リサイクルベンチ 32脚分
- ⑫チームマイナス6%に参加
- ⑬グリーン購入の実施 達成率 95.2%
- ⑭北条中学校「環境教育実践モデル事業」 平成17、18年度実施
- ⑮環境家計簿の記帳 平成19年度 448世帯、平成20年度 493世帯

※『環境家計簿』集計結果(平成19年7月から平成20年6月記帳分)

(広報北栄H20年12月号)



- ⑯水切りモニターの実施 54人（平成18年度実施）
- ⑰天ぷら油回収大作戦（BDF）の実施（平成19年6月）
平成19年度 回収9,300リットル、公用車利用7,900リットル
平成20年度 回収12,027リットル、公用車利用9,288リットル
- ⑱温暖化ストップキャンペーン「我が家節電家族」
参加者 平成19年度 6世帯、平成20年度 12世帯
平成19・20年度キャンペーン参加家庭の二酸化炭素削減量 約1,926kg
- ⑲リサイクルステーション設置（平成19年6月、大栄、北条庁舎に設置）
設置前（平成18年度）に比べ、回収量が71t（36.2%）上昇しました。
- ⑳壁面緑化の実施「ゴーヤでクールビズ」 北条庁舎、6保育所



㊦ほくえい環境塾開催（環境講演会、講習会、施設見学会（環境バス））

環境講演会・講習会

	講演会・講習会テーマ	講師	参加人数
平成 19 年度	環境にやさしい暮らしの工夫	とっとり環境教育・学習アドバイザー 向井哲朗氏	4 7
	ドイツの環境対策 ～私たちにもできること～	とっとり環境教育・学習アドバイザー 山本ルリコ氏	3 3
	みんなでやろう新エネ・省エネ ～防ごう地球温暖化～	とっとり環境教育・学習アドバイザー 清水谷繁氏	2 5
平成 20 年度	マイバッグ作製講習会 (傘布利用)	縫工房	2 3



環境バス

	見 学 施 設	参加人数
平成 18 年度	○一般廃棄物中間処理施設「ほうきりサイクルセンター」 ○一般廃棄物最終処分場「クリーンランドほうき」 ○北条砂丘風力発電所 5 号機	3 1
平成 19 年度	○「(株)鳥取再資源化研究所」(ガラスびんリサイクル施設) ○「倉吉資源リサイクル事業協同組合 (Kセンター)」 (古紙等再生資源回収施設)	4 4
	○一般廃棄物中間処理施設「ほうきりサイクルセンター」 ○一般廃棄物最終処分場「クリーンランドほうき」 ○北条砂丘風力発電所 5 号機	2 5
平成 20 年度	○鳥取県衛生環境研究所 (軽油と B D F の排気ガス実験同時実施)	3 8



- ㉒ こどもエコクラブ加入（町内全保育所、幼稚園、小・中学校）
平成20年度 登録人数 1,642人（サポーター含）
- ㉓ 公共施設照明設備の電球型蛍光灯への交換 200個
- ㉔ 菜の花プロジェクト実施
平成20年度 社会実験 66a（2人）、補助金事業 179a（6人）
- ㉕ 由良保育所太陽光発電システム設置（発電出力5.76kW）



- ㉖ 北栄町こどもエコクラブ発表会開催（H21.2.1）



2. 町民の取組

本町での住民参加の取組としては、平成20年度に、海岸清掃を関係自治体において年3回し、地域住民の参加者は、2,158人となっています。河川清掃も年1回実施しており、地域住民の参加者は、16人となっています。この海岸・河川清掃による平成20年度の年間ごみ処理量は、ごみ袋（大）に換算すると、可燃ごみ約4,051袋、不燃ごみ約593袋でした。

さらに、クリーン作戦として全自治会周辺の清掃を年2回実施していただいています。実施自治会は、延べ100自治会で6,000人の方に参加いただきました。

環境学習・ごみ分別についての出前講習会も自治会毎に行われており、平成18年度4自治会88名、平成19年度8自治会253名、平成20年度8自治会264名の参加がありました。

ボランティアでの道路や河川の清掃、管理も盛んに行われています。婦人会においては、ペットボトルキャップ、割り箸の回収を進めておられており、平成20年度は、ペットボトルキャップ661kg（25万4千個）、割り箸1,234kg回収されています。また、県が進めているアイドリングストップ運動にも積極的に登録され、認証を受けて活動されています。町内でアイドリングストップ運動への登録者は、492名にもなっています。

また、鳥取県版環境管理システム（TEASⅢ種）に登録されている家庭は、8家庭でした。

町内の自然保護団体の取組

団 体 名	設立年	活 動 内 容	平成20年の取組
大栄ほたるの会	H 9	ほたるの観察 カワニナの採取、放流	同左
北栄町サンショウウオの会	H 1 6	生息調査、川掃除	
ドンダリの会	H 1 8	どんぐりの植樹 草刈り、おしどりの観察	草刈り おしどりの観察
由良宿まちづくりの会	H 1 2	地域の活性化 由良川の土手に桜の植樹	賑わいの復活活動 観光客のもてなし 除草
由良川美化教室		あじさいの植栽	草刈り、ごみ拾い あじさいの水遣り、施肥
大栄生涯学習まちづくり研究会	H 1 0	前川土手、コナンロード、 駅前通りの花いっぱい運動	除草作業、ガザニアの 植栽
由良川保全会	明治ご ろから	由良川沿いの9自治会による藻切り	盆後に1回

3. 事業者の取組

本町での事業者の取組としては、平成16年度（2004）から北条中学校において「環境教育実践モデル事業」を実施し、環境問題に校内あげて取り組みました。

スーパーマーケットでは、トレイや牛乳パックの回収が行われています。

町内の事業者で、県のアイドリングストップ運動への登録数は、28事業所となっています。鳥取県版環境管理システム（TEAS）に登録されている事業者は、I種2業者、II種2業者、III種学校版3校、小規模事業所8業者でした。

また、平成20年4月、事業者、消費者、環境活動団体、県、市町村が一体となって「中部地域ノーレジ袋推進協議会」を設立し、平成20年11月10日をスタートに毎月10日を「ノーレジ袋デー」とするなど、レジ袋削減に向けた取組が始まりました。

第4章 実行・点検・行動の取組状況

1. 推進体制の整備

環境基本計画に基づく具体的実行計画を、町、町民、事業者が連携・協働して取り組むために「北栄町環境まもり隊」（以下「まもり隊」という。）を、平成20年5月に結成し、総会、部会、講習会（ぼかし作り）を開催しました。

2. 具体的実行計画の達成状況

具体的実行計画の達成状況については、次表のとおりです。

具体的実行計画		平成28年度数値目標	平成20年度実績	実施主体	目標の達成状況
1 自然環境の保全	1	被害林面積20ha	伐倒駆除材積量 H18 1,049m ³ H19 853m ³ H20 1,216m ³	産業振興課	取組を進めています
	2	対象人工林578haのうち 実施面積150ha(26%)	実施面積 H18 11.3ha H19 6.8ha H20 27.9ha	産業振興課	取組を進めています
	3	河川整備において、フナ、ウグイ、ウナギ等の生息に配慮した多自然型工法を採用します。		産業振興課	—
	4	川岸、海岸、住居地域周辺の清掃活動を実施します。	川岸1回 海岸3回 住居地域周辺(クリーン作戦)2回	環境政策課 目治会	達成 引続き取り組みます
	5	特別天然記念物オオサンショウウオの保護体制を推進します。		文化財保護法に基づく協議・指導1件 ホームページでの情報提供	取組を進めています
2 農地の保全	1	遊休農地を利用して、景観作物の菜の花やひまわりを栽培して農地の保全に努めるとともに、菜の花やひまわりから植物油を作ります。できた植物油は、家庭で天ぷら油として利用してもらい、最終的にはバイオディーゼル燃料として利用し、カーボンニュートラル(注1)によるCO ₂ の排出削減に努めます。 (注1)カーボンニュートラルとは、ライフサイクルの中で、二酸化炭素の排出と吸収がプラスマイナスゼロのこととを言います。	H20 栽培面積 ・社会実験 66a ・参加者 179a 〔9月 耕うん・施肥〕 〔10月 種まき〕 〔 H21計画 4月 開花 6月刈り取り 8月 搾油 10月 販売 (社会実験分) 〕	環境政策課 耕作者	取組を進めています

3 自然とのふれあいの推進		具体的実行計画	平成28年度数値目標	平成19年度実績	実施主体	目標の達成状況
1	地域こども教室を開催します。	地域こども教室を開催します。		29教室 参加者延べ1,572人	中央公民館	取組を進めています
2		地域こども教室をとおして環境ボランティアとの協働と人材育成に努めます。		29教室 ボランティア、保護者等 参加者延べ351人 子どもサポーター 個人7人、団体20団体	中央公民館	取組を進めています
3		由良川いかだレース大会を開催します。		H18から実施 H20 32チーム232人	中央公民館	取組を進めています
4 生活環境の保全						
1	低公害車の導入により大気汚染の防止に努めます。	低排出ガスH17☆☆☆車 31台 (うちハイブリッド車3台)		H20まで 2台(うちハイブリッド 車1台)	総務課	取組を進めています
1		ごみ減量化作戦として、生ごみ処理器の普及に努めます。	導入台数500台 可燃ごみ減量97t		H20まで 163台	環境政策課
5 社会環境の保全						
2	安全で安心な水の供給(上水道)を行います。	マイバッグ運動の推進を行います。	実施戸数1,000世帯 (21.1%)	平成20年4月「中部地域ノーレジ袋推進協議会 設立 11月より毎月10日 「ノーレジ袋デー」	環境政策課 事業所 団体等	取組を進めています
3			H17年度末6.7kmの石綿管を H26までに更新完了	H20末2.2kmの残	上下水道課	取組を進めています
4		生活排水処理施設の整備を推進します。	H26までに下水道等整備工事完了 H28水洗化率99%	普及率88.2% 水洗化率76.0%	上下水道課	取組を進めています

具体的実行計画		平成28年度数値目標	平成20年度実績	実施主体	目標の達成状況
6 快適環境の創造	1 埋蔵文化財の調査（試掘・分布調査を含む）を行います。		試掘調査なし	生涯学習課	取組を進めています
	2 各種開発事業にとりまなう文化財全般の保護に関する協議・指導を推進します。		協議・指導11件 うち文化財保護法に基づくもの2件	生涯学習課	取組を進めています
7 循環型社会の構築	1 グリーン購入（注2）を進めます。 （注2）グリーン購入法とは、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」で、国等が物品を購入する際には環境に配慮されたものを購入しなければならないとされています。	町が購入する物品等の調達目標 100%	調達実績 95.2%	環境政策課	取組を進めています
	2 分別回収の徹底を図ります。	リサイクル率25% 可燃ごみ減量157t	H18 21.6% H19 22.7% H20 23.0%	環境政策課	取組を進めています
8 地球温暖化対策	1 住宅用太陽光発電設備の設置を推進します。	世帯数の4%（205戸）	H20まで 1.8%（92戸） （378.69kW）	環境政策課	取組を進めています
	2 公共施設に太陽光発電設備の導入を図ります。	建替え・新設施設100% 既存施設50%	由良保育所（5.76kW）	環境政策課	取組を進めています
	3 新エネルギービジョンを策定します。	平成19年度策定	策定	環境政策課	達成
	4 公共施設へのペレレットストーブの導入を図ります。	5台	6台	環境政策課	達成
	5 環境家計簿の記帳を推進します。	実施世帯1,000世帯 （21.1%）	493世帯	環境政策課	取組を進めています
	6 家庭版環境ISOに取り組みます。	実施世帯500世帯 （10.5%）	未実施	環境政策課	未達成

9 酸性雨防止対策		具体的実行計画	平成28年度数値目標	平成20年度実績	実施主体	目標の達成状況
1		省エネルギービジョンを策定します。	平成20策定	H19策定	環境政策課	達成
2		BDF燃料製造を行います。	BDF燃料製造10,0000	約12,0000	環境政策課 事業者	達成
3		アイドリングストップ運動を展開します。	公用車100% 町民、事業所の参加率10%	個人492人 事業所28事業所	環境政策課	町としては未実施ですが、取組を始めている個人、団体、事業所があります
10		1 フロンガス使用機器の適正使用と処分の啓発を行います。		未実施	環境政策課	—
11		1 すべての小中学校で鳥取県版環境管理システム認証制度(愛称テス=TEAS)Ⅲ種の早期取得を図ります。	小中学校100%	75%	環境政策課 教育総務課 小中学校	取組を進めています
		2 こどもエコクラブへの参加を呼びかけます。	園児から高校生で1,300人	1,642人	環境政策課 教育総務課 保育所(園)幼稚園 小中学校	達成
		3 給食センター、保育所への生ごみ処理機の導入を図ります。	全施設	未実施	給食センター 保育所(園)	未達成
		4 環境ボランティアの育成を行います。			環境政策課ほか	—
		5 地域こども教室を開催します。(再掲)		29教室 参加者延べ1,572人	中央公民館	取組を進めています
		6 地域こども教室をとおして環境ボランティアとの協働と人材育成に努めます。(再掲)		29教室 ボランティア、保護者等 参加者延べ351人 子どもサポーター 個人7人、団体20団体	中央公民館	取組を進めています
		7 風力発電を利用した環境教育に努めます。		H20見学者数 39団体1,185人 H20までの累計 145団体3,331人	環境政策課	取組を進めています

具体的実行計画		平成28年度数値目標	平成20年度実績	実施主体	目標の達成状況
12 環境情報の共有化	1 文化財保護全般に関する情報の開示と啓発を行います。		ホームページに文化歴史ガイド掲載	生涯学習課	取組を進めています
	2 環境に関する情報をホームページ等で公開します。		ホームページに風力発電所情報掲載	環境政策課	取組を進めています
13 町・町民・事業者との協働	1 地域こども教室の活動に対し協力ボランティアと連携して、参画事業の立案と実施を行います。		全体日程調整会議、教室ごとの協議等	中央公民館 協力ボランティア	取組を進めています
	2 文化財保護に関する各種団体との連携と情報提供を行います。		文化財保護委員会3回	生涯学習課	取組を進めています



平成20年度 北栄町環境報告書

発行日 平成21年9月

発行 北栄町

編集 北栄町環境政策課

鳥取県東伯郡北栄町土下112番地

tel 0858-36-3112

fax 0858-36-4595

e-mail kankyou@e-hokuei.net

URL <http://www.e-hokuei.net/>